【忍野村】

１人１台端末の利活用に係る計画

１．１人１台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

第６次長期総合計画の中で「世界で活躍できる人材育成」を掲げ、教育委員会としては「地域を支え、世界に貢献できる人材の育成」を目標としています。

ネットを通して情報を発信したり、情報を得たりする能力を身につけさせグローバル社会・スマート社会に対応できる児童・生徒を育成することを目指します。

２．GIGA第１期の総括

忍野村では令和２年度に校務系のネットワーク環境の再構築（３層分離型)、校内無線LANの再整備、GIGAスクール構想による１人１台端末の整備（整備率100%）を行った。校務系ネットワークおよび校内無線LANについては、運用開始直後はネットワーク速度やつながりにくい等の問題が見受けられたが、都度設定の見直しにより解消してきた。また、１人１台端末は教職員の中でICTの利活用の状況について差があることや、日々変わっていく情報セキュリティ対策について教育委員会、学校ともに対応しきれていないといったことがあったが、５年経ったこともあり徐々に定着しつつあり、デジタル教材や電子黒板などについては、学校側の要望に応じ整備を行った。

また、外での実験学習や自宅にWi-Fiがない家庭に対して授業が行えるよう貸出用モバイルルーターSIM（ポケットWi-Fi）の整備も行った。

今後の課題としては。ICTの利活用の状況や情報セキュリティ対策に対応するため、定期的な活用研修や情報リテラシーおよび情報セキュリティに関する研修を定期的に行い総合的なICTスキルの底上げを図りたい。

３．１人１台端末の利活用方策

〇１人１台端末の積極的利活用

教職員の研修を通しICTスキルの底上げを図る。

授業において積極的に情報端末やICT環境の利用を行えるような取り組みを行う。

また、それに伴い情報セキュリティに関する研修も併せて行う。

〇学校以外での授業の提供

感染症や災害時における場合でも自宅にてオンライン授業ができるよう整備方針を明確化する。

〇個別最適・協働的な学びの充実

デジタル教材や音声教科書、デイジー教科書等を積極的に活用して、児童・生徒に合った学習体制を整備することにより個別最適な学習指導、また協働的な授業運営を推進し、勉強の効率を図る。

〇児童生徒のための学び保障

特別支援教室を設け、不登校児童生徒などに対して端末を活用した学習活動などの支援を行い、オンライン授業等を行いことによって学習の場を提供する。